令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

義 務 教 育 課

令和6年度全国学力・学習状況調査における徳島県の結果について

1. 調査の概要

○実施日 令和6年4月18日(木)

○調査対象

国・公・私立の小学校・特別支援学校小学部

第6学年児童

国・公・私立の中学校・中等教育学校・特別支援学校中学部 第3学年生徒 原則として全児童生徒

○本県の実施状況(公立学校のみ)

· 小学校 156校 約5, 100名

(市町村立:156校)

•中学校 78校 約5,000名

(市町村立:74校、県立:4校〔中学校2校、中等教育学校1校、

特別支援学校1校])

○調査内容

・児童生徒に対する調査

教科に関する調査

小学校:国語、算数 中学校:国語、数学

質問調査(今年度より一人一台端末を用いてオンラインで実施)

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもの

・学校に対する質問調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等

2. 教科に関する調査結果(公立学校のみ)

平均正答率は、次のとおりであった。

校種		小学校	(第6章	学年)	中学校(第3学年)			
教科		国語	算数		国語	数学		
問題数		14	16	総	15	16	総	
平均正答率(%)	徳島	68	65	合	57	54	合	
	全国	67. 7	63. 4		58. 1	52. 5		
全国順位(※)		14	5	7	25	8	16	

※ 全国順位については、本県独自に平均正答率から算出した値である。

3. 結果分析等の概要

小学校については、国語、算数ともに正答率が全国平均を上回り、中学校については、国語の正答率は全国平均を下回ったが、数学の正答率は全国平均を上回っている。

小学校、中学校ともに授業改善が進み、一定の学力の定着が見られる。

4. 各教科の結果

【小学校】

○国語

正答率が高かった問題 (別紙1参照)

文章中の「なげる」を、漢字を使って書き直す問題の正答率が高かった。

正答率が低かった問題 (別紙1参照)

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が低かった。取材メモの内容を取り上げて、自分の考えを明確に書くことができなかったと考えられる。

○算数

正答率が高かった問題 (別紙2参照)

はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚とし、二人のおりがみのやり取りに関する 文章を読み取り、数量の関係を□を用いた式で表しているものを選択する問題の正答 率が高かった。

正答率が低かった問題 (別紙2参照)

二人の児童が、それぞれの家から学校まで歩いて行く。それぞれの道のりは等しいが、かかった時間が異なる。このとき、二人の歩く速さについて、どちらが速いか判断し、その理由を答える問題の正答率が低かった。

【中学校】

○国語

正答率が高かった問題 (別紙3参照)

行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして、適切なものを選択する 問題の正答率は高かった。

正答率が低かった問題 (別紙3参照)

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が低かった。表現を工夫したり、自分が工夫した表現について、どのような効果があるのかを説明したりすることができなかったと考えられる。

○数学

正答率が高かった問題 (別紙4参照)

正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める問題が高かった。単純な式の計算から答えを求めるのではなく、図で表されたものから整数を求める問題であり、すでに整数が入っている個所の値から空いている□に入る整数を求める問題の正答率が高かった。問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができている。

正答率が低かった問題 (別紙4参照)

18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。説明の根拠となるものを選択肢から選択し、それをもとに説明する問題の正答率が低かった。違いを求めるためにグラフの傾きに着目して求めることやグラフから読み取ったことを数学的に表現できなかったと考えられる。

5. 本県の課題と今後の対応

【課題】

小学校、中学校ともに授業改善が進んできており、一定の学力の定着が見られるが、小学校、中学校とも国語の学力に課題が見られる。

国語の解答状況からは、昨年度と同様に「書くこと」「読むこと」について課題が見られる。

これからの多様で複雑な社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要と考えられる。

本県ではこれからの社会を生きるために必要となる力を「徳島版読解力」と定義し、 すべての教科等においてその育成を図っていく。

【今後の対応】

- ○鳴門教育大学と連携した詳細な結果等の検証
- ○「徳島版読解力」の周知・徹底による授業改善の推進
- ○学力調査の結果を踏まえた授業実践事例の収集と周知

16

令和6年度全国学力・学習状況調査結果(5か年推移)

取 扱 注 意 校 種 小学校 中学校 総合 総合 教 科 算 数 理 科 数学 国 語 国 語 英語 平均正答率 徳島県 63 65 70 59 57 (%) 72.8 63.8 66.6 59.8 56.0 R元 全国との差 -0.8 -1.6-2.8 -0.8+1.033 42 26 全国順位 33 35 30 70 平均正答率 徳島県 63 65 58 (%) 全 国 64.7 70.2 64.6 57. 2 RЗ +0.4 全国との差 -1.7-0.2+0.8 34 13 28 12 8 9 全国順位 64 62 71 55 平均正答率 徳島県 62 50 (%) 全 国 65.6 63.2 63.3 69.0 51.4 49.3 R4+2.0 +3.6 全国との差 -1.6-1.2-1.3+0.7 33 24 34 33 4 3 10 5 全国順位 66 62 平均正答率 徳島県 68 51 45 (%) 全 国 67.2 62.5 69.8 51.0 45.6 R 5 全国との差 -1.2-0.5-1.8 ± 0 -0.634 39 15 16 26 15 20 全国順位 平均正答率 徳島県 68 65 57 54 (%) 67.7 63.4 58.1 52.5 全 国 R 6 全国との差 +0.3+1.6-1.1 +1.525

7

8

本県の結果〔本県、全国ともに公立の値〕

14

全国順位

5

[※]全国順位は、県教委が平均正答率から独自に算出した値

別紙1 正答率が高かった問題

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。 「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを_イなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

- 6年生がくふうしていること
 - ○遊びたいことを下級生に聞く
 - ○ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる

下級生に聞いたこと

- ○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- ○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- ○4年生 みんなが楽しそうでうれしかった

ア<u>きょうぎ</u>の作戦を考えたりします。

上級生が遠くからボールをィなげる

			******						*	******	
	1	1	1						1	1	
1	1	1	1					0 0		1	1
		1									l
		******	******	******		******	******		*****	*****	
1		1			1					1	
1		1	1					0.0		1	
1	1	1								1	
		· +								A	
		·*	******	*****	·	******			******	******	,
1		1	1							1	
1	1	1	1			1		1		1	
1	1	1	i							1	i
			1							i	
	,				,					******	,
		1									
i	3	i								1	
1	1	1				1				1	1
		1	1							1	
-		1	1							1	
1	1	1	1					8		1	
1	4	1	1							1	
		1	1			603				1	L
		1								1	
1	1	1	1							1	
1	1	1	1							1	
	and the same	i		Contract of	Laure !	and and	Section 2	Sabood	2000	1	in the same
- T		7					V 1000	0.000			
1	1	1	1		1					1	
1	1	1	i					16	1	1	
1	and come	1	i de la constante	Dayres.	les costs	- Control				1	
		*	******						_	_	_
	*********	· · · · · · ·	******			******	******				
1	1	1									
1	1	1	1								
	1	1	1	E 5	1	1	1000				

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。 解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書き ましょう。

六十字以上【高山さん 【高山さんの文章】

0004

の遊

取び

X D

の下級

生て考

聞え

いた

とを

文

を 取

上げ

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、 同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。 「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良く なります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、 3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、 下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。 「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生 といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。 このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになる ところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ 活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを 下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジ ボールでは、上級生が遠くからボールをィなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

- 6年生がくふうしていること
- ○遊びたいことを下級生に聞く
- ○ルールをくふうする
- ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
- 下級生に聞いたこと
- ○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- ○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- ○4年生 みんなが楽しそうでうれしかった

【高山さんのメモ】

内考

をた山

ピーさ のたん

よては

書遊の

山さ

h

0 書こ

文

章

U きま

うわ

12 1)

すの

かよ

条

件

合

to {

7} 書

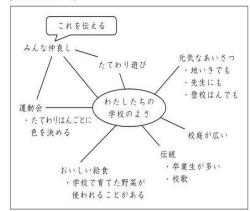
ŧ な

ŧ

あ

10 10

A L



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも 1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で 活動していて、みんなが仲良しになる。このことが 学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



2 で考 にしまし

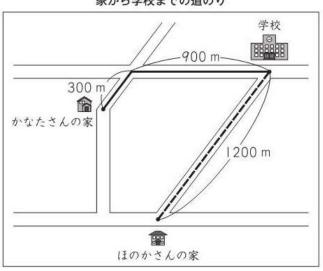
別紙2 正答率が高かった問題

(2) たくみさんは、はじめに折り紙を何枚か持っていました。 ゆうまさんから38枚もらって、全部で62枚になりました。 このことを、たくみさんがはじめに持っていた折り紙の枚数を□枚として 式に表します。

下の **ア** から **エ** までの中から、正しい式を | つ選んで、その記号を書きましょう。

- $7 62 + 38 = \square$
- $1 \Box + 38 = 62$
- \neg \Box 62 = 38
- \Box 38 = 62

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のり

家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは 20 分間、ほのかさんは 24 分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのか さんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

別紙3 正答率が高かった問題

- ⑦の部分は、楷書とは異なり点画を連続して書いている。
- 2 **②**の部分は、楷書とは異なり点画を直線的に書いている。
- **一の部分は、楷書と同様に終筆を止めて書いている。**
- 3 国の部分は、楷書と同様に点画を省略して書いている。



き方について説明したものとして最も適切なものを、 田中さんは、短歌を紹介するための資料の中に、テーマである「月と風景」を行書で書きました。次の⑦から国までの部分の書 あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

7

あ

0 H

数 H

が 過

1:

P

あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

います。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

1

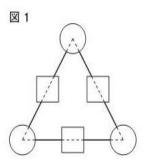
・紙の辞書を久しぶりに使った。	〈物語を通して伝えたいこと〉	17
部)及び【物語の下書き】の1から4は、場面の番号を表します。》 「ノートの一部】 《登場人物の設定》 ・「僕」紙の辞書。語り手。 ・「君」紙の辞書の持ち主(中学生)。 ・「君」紙の辞書の持ち主(中学生)。 ・・「君」紙の辞書の報告を表します。》	部)及び【物語の下書き】の1から4は、場面の番号を表します。) 【フートの一部】 《登場人物の設定》 ・「君」紙の辞書。語り手。 ・「君」紙の辞書を親に東っている。 ・最近はオンライン辞書はかり使っている。 ・紙の辞書を久しぶりに使った。	血
近はオンライ () () () () () () () () () (カの設定 カの設定 する体験 する体験 する体験 オカル頃 が始めた頃 がおかた頃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ラ順・一ののない	久ラ 山 、	7
ラザーンへいのないのない	スラザー 水の砂	
ラザーンへのな	久ラ 塩 かいのね	
ラ順き~	久ラ 塩 *	
・最近はオンライン辞書ばかり使っている。 ・像小蛤の花填、紙の辞書の引き方が難しくて困った。 ・小学生のとき、紙の辞書を親に買ってきらった。	・紙の辞書を久しぶりに使った。 ・般近はオンライン辞書ばかり使っている。 ・最近はオンライン辞書ばかり使っている。	
・最近はオンライン辞書ばかり使っている。	・紙の辞書を久しぶりに使った。・最近はオンライン辞書ばかり使っている。	
〈物語を通して伝えたいこと〉		
紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。(物語を通して伝えたいこと)	紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。	
《各場面で伝えたい「僕」の心情〉(物語を通して伝えたいこと)	(各場面で伝えたい「僕」の心情) 紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。	
(物語を通して伝えたいこと) (物語を通して伝えたいこと)	(各場面で伝えたい「僕」の心情) (各場面で伝えたい「僕」の心情) 紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。	
(物語を通して伝えたいこと) (物語を通して伝えたい「僕」の心情) (本語のない寂しさ。	(各場面で伝えたい「僕」の心情) (各場面で伝えたい「僕」の心情) 紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。	
(物語を通して伝えたいこと) (物語を通して伝えたい「僕」の心情) コ 出番のない寂しさ。 ② 忘れられるかもしれない不安。 ③ 久しぶりの出番で感じた喜び。	(各場面で伝えたい「僕」の心情) 出番のない寂しさ。 (各場面で伝えたい「僕」の心情)	

【物語の下書き】

佐藤さんま、【 物語の下書き】 の 「
4 あの日から数日が過ぎた。
がした。
葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君はみちたりた表情をしていた。僕は自分が認められたような気
わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言
調べなければならない言葉だけでなく、近くにある言葉にも綻を引き、意味を確認する君。意味調べが終
何度もページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。
たから、僕はびっくりし、君はほこりで大きなくしゃみをした。ほこりだらけの僕に顔をしかめたけれど、
③ そう考えていたとき、君は僕を手に取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだっ
のだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。
さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利な
② インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語
たのに。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。
から、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたり、書き込みをしたりしてくれ
① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅てじっと待っていた。ほこりだらけになりなから。中学生になって

別紙4 正答率が高かった問題

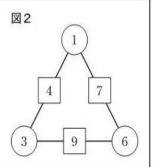
6 次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいた ものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかれている 辺の両端の○に入れた整数の和が入ります。



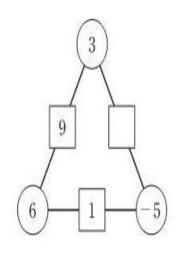
計算の例

3つの \bigcirc に1、3、6を入れると 3つの \bigcirc にはそれぞれ 1+3、3+6、6+1 の計算結果が入る。 がから、3つの \bigcirc には4、9、7

だから、3つの□には4、9、7 が入る。



(1)下の図の□に入る整数を求めなさい。



8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 L の灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

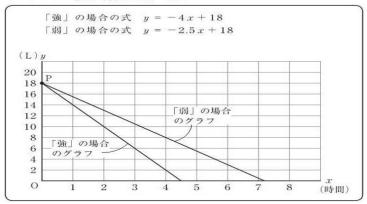
説明書の情報

ストープの設定	強	弱
1 時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど 使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることに しました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場 合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係 を調べることにしました。

そこで、結衣さんは、**説明書の情報**の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてからx時間経過したときの灯油の残量をyLとして、「強」の場合と「弱」の場合のxとyの関係をそれぞれy=18-4x、y=18-2.5xと表しました。そして、この2つの式をそれぞれy=-4x+18、y=-2.5x+18と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量



(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式
$$y = -4x + 18$$
 と「弱」の場合
の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ